

# ProMED-mail情報 2020年 12月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介し、FORTH（厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp/>）に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	COVID-19 中国	中国CDCによると、武漢（人口1100万人）の住民におけるCOVID-19の抗体保有率は4.43%で、約50万人がCOVID-19に感染している可能性を示した。これは武漢で公式に確認された症例数のほぼ10倍に相当。
24日	鳥インフルエンザA H5N8（野鳥） 日本	12月3日から18日にかけて、和歌山県、岡山県、香川県、鹿児島県で死亡した野鳥を採取し、検査の結果、鳥インフルエンザA（H5N8）を確認。
20日	COVID-19 英国	9月に出現した突然変異（N501Y）によるコロナウイルスの新しい株が、以前の亜種よりもはるかに急速に拡大中。初期の分析は、この突然変異によって初期のウイルスよりも70%速く拡散することを示唆。
18日	ラッサ熱 ナイジェリア	今年第1週から第50週までの累計では241件の死亡が報告されており、致死率は20.7%。全体の36%がオンド州、32%がエド州、7%がエボニ州から報告。主な年齢層は21～30歳。疑われる症例数は、2019年の同時期と比較して大幅に増加中。
17日	ポリオ グローバル	WPV1はアフガニスタンやパキスタン等で発生しているものの、過去2週間では新規確認症例はない。一方、cVDPV症例数は急速に増加し続けており、この1週間で新たに確認された症例数は68例で、2019年の同時期に報告された総症例数の4倍以上。
15日	鳥インフルエンザA H5N6（ヒト） 中国	中国保健当局は、江蘇省常州市の81歳の農家女性の鳥インフルエンザA（H5N6）のヒト症例を報告。症状が出る前に自宅で生きた鶏に暴露していた。患者は入院したがその後死亡。2014年から現在までに、中国の保健当局から25人の鳥インフルエンザA（H5N6）のヒト症例が報告。
12日	原因不明出血熱 中国	渭南市Linwei区で出血熱の発生が増加し、衛生局は同区における集中的なネズミ駆除活動を実施。陝西省疾病管理局は、10月から翌年の3月までが本省関中地区の出血熱のシーズンと注意喚起。
7日	原因不明疾患 インド	アンドラプラデシュ州西ゴダバリ地区エルルで、子ども46人を含む292人が、頭痛、嘔吐、めまい、てんかんに似た症状を訴えて入院。約140人が病状安定後に退院したが、死亡例も報告されている。現時点で特定のウイルス感染や水質汚染は確認されず、COVID-19検査も陰性。
6日	黄熱病 ナイジェリア	第24週から第47週の期間に5つの州の7つの地方行政区から合計48人の確定症例が報告。確定症例のうち死亡は7例で、致死率は14.6%。
4日	メタノール中毒 ロシア	ハウスパーティー参加者が、工業用アルコール（手指消毒剤）を飲んで8人死亡。その中には孤児となっている5人の子供の両親も含まれていた。
3日	西ナイルウイルス 米国	フロリダ州保健局はマーティン郡で西ナイルウイルスのヒト陽性例を確認。同州におけるヒト感染例は珍しくなく、2020年10月19日現在、ベイ郡、ブロード郡、パームビーチ郡、マイアミ・デイド郡で59件が発生。
2日	急性E型肝炎 ブルキナファソ	今年9月8日から11月24日までの、中北部地域における発熱性黄疸の累積数は442例。大部分はバルサロゴ保健地区から報告されたもので、症例数は387例、死亡者数は16例。WHOは保健省に対し、原因がE型肝炎である可能性があるとの助言。